

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域密着型サービスの意義とグループホームの役割を理解し、利用者が地域の一員として、より一層地域交流できる機会を多くしていきたい。	・地域密着型サービスとは、介護が必要になっても住み慣れた地域でその人らしく生活できるように支援していくこと。意義を理解する。 ・地域活動への参加を促進し、地域の方々とふれ合う機会を多くすることで、利用者が充実した生活を送っていけるように支援する。	・現在実施している、地域の回覧板を活用し、利用者が地域活動に参加できるように支援していく取り組みは、今後も継続していく。 ・法人内の併設している、老健・通所リハビリと更に連携を深め、利用者が参加できる地域交流の機会を増やす取り組みを実施していく。	12か月
2	19	御家族への活動や近況の報告について、定期的に日頃の様子を文章や写真で伝えることによって、遠方にいらっしゃる御家族の安心に繋がるのではないかと。	・毎月1日発行の広報「スマイル」はホーム全体の報告であり、今後も継続する。 ・定期的に日頃の様子を文章や写真で伝えていく仕組みを構築していく。	・毎月1日発行の広報「スマイル」でホームからの報告を継続する。 ・毎月郵送する請求書に御家族宛のお便りや写真を同封し、日頃の様子を報告していく。 ・遠方にいらっしゃる御家族に対しては定期的に電話連絡し、日頃の様子を伝えたり、行事の内容等を理解していただく。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。